

エンジン01文化戦略会議

オープンカレッジin鳥取

# 鳥取は、先取りのまちになる。



和田秀樹 さん

竹内 功 市長

1月9日(月)、東京都渋谷区のエンジン01事務局で、3月23日(金)から25日(日)の3日間、とりぎん文化会館と鳥取環境大学などで開催される「エンジン01文化戦略会議オープンカレッジin鳥取」(本紙付録参照)大会委員長である精神科医・和田秀樹さんと大会会長の竹内市長が、鳥取大会の開催意義や特色などについて、対談を行いました。

問い合わせ先 本庁舎文化芸術推進課 ☎0857-20-3226

## エンジン01文化戦略会議のねらいと活動

市長 最初に、エンジン01文化戦略会議のねらいとか、これまでの活動の経過をお話していただきたいと思います。和田 エンジンは、エンカレッジ・ジャパン・インテリジェント・ネットワークの略で、特にインテリジェント・ネットワークということの意味があるわけですね。エンジンのメンバーのよな文化人は、一匹オオカミのようになりますが、みんなで集まってできる限りのことをやろうと。しかも、原則ボランティアで、ノーギャラでやろうという集まりで、その趣旨に賛同して

くれた人が240人以上います。その中のメインイベントとなつていくものがオープンカレッジで、講座やシンポジウム、コンサートなどをトータルパッケージとし、そのまち全体に新しい文化を築いていくために提案をしています。それが鳥取市で10回目になります。

## 空論ではなく実論を

市長 鳥取市では山陰海岸ジオパークや砂の美術館、童謡唱歌のまちづくり、まんが王国など新しい文化の形成にも取り組んでいます。

また、鳥取大会の実施は、地元の商



## チケットをお買い求めください!

内容については、  
本紙付録のプログラムをご覧ください。

2月4日(土) 午前10時より、下記各所ならびに「チケットぴあ」で販売します(各500円)。

- ▶とろぎん文化会館(9:00~22:00) ▶鳥取市民会館(9:00~22:00)
- ▶鳥取市ふるさと物産館(9:00~19:00) ▶倉吉未来中心(9:00~22:00)
- ▶米子コンベンションセンター(9:00~22:00)

※( )内は2月5日以降の販売時間です。

※ローソンチケットでも3月23日、25日の梨花ホールのみ販売します。

工会議所青年部や青年会議所のメンバーが大活躍する予定です。

和田先生は、大会委員長として鳥取大会のプログラム作成についていろいろ苦心されたと思います。この大会の内容や特色は何ですか。

和田 もちろん岡野貞一先生の講座や、砂の美術館、マンガ文化など、いろんな形で鳥取に関する案件を取り上げています。

一方、我々が今回一番重要視しているのが、「砂上の実論。」というテーマと「鳥取は、先取りのまちになる。」というコンセプトです。空論ではなく実論を伝える。役に立つ話をしていきたいということを重要視しました。逆に言えば、鳥取のみなさんがそれを聞いた上で何かやってみようと思っただされば、鳥取が将来、先取りのまちなってこれればと思っています。

### 先々につながるもの

今回、これまでのエンジンでやらなかったことを幾つかやっています。一つは夜楽です。



また、鳥取出身の文化人を輩出したいという趣旨のもと、中学生、高校生を対象に作詞家

#### 和田秀樹 氏 Hideki WADA

1960年大阪市生まれ。東京大学医学部卒。東京大学医学部附属病院神経科助手。アメリカ、カール・メニング精神医学国際フェローを経て、国際医療

福祉大学大学院教授、和田秀樹ころと体のクリニック院長。2007年映画初監督作品『受験のシンデレラ』でモナコ国際映画祭最優秀作品賞受賞。著書『テレビの大罪』『人生の軌道修正』『医療のからくり』『40代からの節制は寿命を縮める』『がまん』するから老化する』『大人のための勉強法』『自己愛の構造』など多数。

夜楽委員を山本益博さん、犬養裕美子さん、横川潤さんという日本を代表する食の評論家にお願ひしました。それは鳥取の中の隠れた名店をちゃんと探し、3人が実際に下見をして選ぶ。その中で、我々のメンバーの料理人のご協力を得て、地元のお店とコラボして何か新しい料理を提供するというところまで踏み込み、先につながることをできたらと考えています。

### 地域に新しい可能性

や映画監督、小説家、アナウンサーなどいろんな職種に対して、どうすればその職業に就けるのかを教えるというか、動機づけになるような「ハローワークin鳥取」という講座を行います。鳥取の子どもたちの人材育成も含めて、先々につながるものになりたいと思っています。

市長 教育的な視点も含めて、地域にとつての非常に大きな課題を提起していただきました。このオープンカレッジの機会を通じて、改めて地域に対し、新しい可能性を見出そうという提起をいただいているということに、大きく期待をしています。

鳥取で開かれるオープンカレッジは、ちょうど3・11の大震災から1年という時期であり、日本の価値観が大きく変わって、安全・安心ということが全国各地で大きな課題になっています。それから高齢化やエネルギー、自然環境の問題など、日本全体が大きな転換点を迎える中で、鳥取はそれをどう克服するのにかについて真剣に考えなければならぬ状況があります。まさに「先取りのまちになる。」という、その決意を持って、我々も準備をし、大会に臨んでいきたいと思っています。